

## 令和2（2020）年度 部局マネジメント方針

みつなが けんじ  
土木部長 光永 建治



### 仕事に対する基本姿勢及び部局の取り組み方針

土木部は、道路、公園、河川の整備及び管理、街路整備事業並びに交通安全運動の推進や自転車対策、東大阪らしい良好な景観の形成に向けた取り組み等、市民生活に密着した事業を担っております。安全で便利な生活環境を確保するため、また、多種多様な市民ニーズに応えていくために、それぞれの分野で積極的な姿勢で業務に取り組んでいきたいと考えております。

高度経済成長期に整備された施設の老朽化が進行する中、従来の「悪くなってから補修を行う事後保全型」から、「損傷の小さいうちに計画的に補修を行う予防保全型」に切り替え、計画的かつ予防保全的な修繕を行い、必要予算の平準化及び維持管理コストの縮減に向けて更なる努力をしております。

また、本市唯一の総合公園である花園中央公園において、より魅力的なエリアと感じてもらえるように、さらに民間活力の導入をはかり、公園内の多分野の施設の一元管理を進めるとともに、公園の魅力や利用者の利便性の向上及び集客につながる施設整備を民間のアイデアやノウハウを活用して進めてまいります。

### 令和元年度の振り返り

平成26年度から実施している橋梁点検事業について、平成30年度までに市が管理する全ての橋梁の点検が完了しています。令和元年度には2巡目の点検に着手し、17橋の点検を完了しました。今後も継続して5年に一度の点検を行うことにより、安全な道路交通の確保に努めてまいります。

法定外公共物の適正管理については、不法占拠路線22箇所の詳細調査を実施し、不法占拠物件の撤去指導を行いました。

交通安全に関する取り組みとして、スタントマンによる交通安全教室を布施中、池島中、盾津東中の3校で実施し、在校生並びに近隣の市民の皆様に多数参加していただきました。

また、幼児から各種学校への交通安全教室を163回、高齢者及び一般向けの講習会等について210回開催しました。今後も特に子供、学生、高齢者、自転車の事故防止に向けて

啓発活動に努めてまいります。

都市計画道路については5路線、駅前交通広場は1箇所が事業中であり、用地買収業務と整備工事を実施しました。

また都市計画道路大阪瓢箪山線は大阪中央環状線から東花園駅付近までが平成31年3月末に供用したのに引き続き、令和元年6月に大阪中央環状線との交差部に交差点が完成し、大阪内環状線から東花園駅付近までが通行可能となりました。また東花園駅付近から大阪外環状線の間についても用地買収に向けた物件調査業務を実施したところであります。

次に奈良線連続立体交差事業に伴う関連側道の事業につきましても用地買収業務を行い、昨年から続いていた整備工事では令和元年9月に一部区間を除きほぼ全区間で供用することができました。

平成27年度から5カ年にわたり行ってきた東大阪市花園ラグビー場の用地取得についても完了し、その後、ラグビーワールドカップ2019日本大会が開催され、日本全土が熱狂する中、聖地花園において白熱した試合が行われました。

都市基盤河川改修事業として、一級河川大川は、本市が事業主体となり、平成2年度に事業着手して整備を進めています。改修計画延長1,740mのうち令和元年度末で1,150mの護岸改修が完成し、一部を除き供用しています。令和2（2020）年度も引き続き用地買収及び護岸改修を進め、治水安全度の向上に努めてまいります。